

第 16 回東北 MIST 研究会 開催報告

2023 年 1 月 22 日（日）に TKP ガーデンシティ仙台にて「第 16 回東北 MIST 研究会」をハイブリッド開催させていただきました。

前日の東北脊椎外科研究会に引き続き、多くの現地参加をいただき、実に 3 年ぶりに現地参加型の研究会を成功裏に開催できました。

皆様には格別のご支援とご高配を賜り、心より感謝いたします。

全体の参加者は 71 名（現地 42 名、Web 29 名）で、一般演題を 14 題ご発表いただきました。

頸椎関連演題が 5 題もあり、MIST の概念も頸椎まで浸透してきたなと感じました。

また脊椎インスト関連から脊椎内視鏡、外傷、椎体骨折の保存治療、胸椎 OPLL と非常に幅広く活発な議論ができ、非常に勉強になりました。

Best presentation award は東北大学整形外科、大野木孝嘉先生の演題

「高侵襲手術の中の低侵襲化コンセプト～私たちの胸椎 OPLL に対する後方進入前方除圧術～」が受賞されました。

Best discussor award は秋田大学整形外科、笠間史仁先生が受賞されました。

特別講演は、関西医科大学 整形外科助教の石原昌幸先生に「成人脊柱変形術後合併症を克服する！！

-多面的アプローチ及び最新の対策から理想的な骨粗鬆症薬使用方法まで-」という題でご講演いただきました。

脊柱変形に関する成績向上の工夫・合併症対策といった、多くの研究結果をわかりやすくご教授いただきました。

また、手術のみならず、薬物療法や理学療法なども含めた包括的な講演をいただき、講演後は質問者が絶えませんでした。

本研究会のサポートを、アムジェン株式会社に担当いただきました。非常にきめ細やかで、

充実したバックアップで、会の成功を支えていただきました。厚く御礼申し上げます。

併設した「東北 MIST 研究会主催 コメディカルのための脊椎 MIS セミナー」では、泉谷奎看護師（青森県立中央病院）、鏡陽奈看護師（みゆき会病院）、長谷川尚平看護師（東北医科薬科大学病院）、

3 名のパネリストによる「手術体位の工夫や褥瘡対策など」についてご講演の後、総合ディスカッションを行いました。

次に、高澤駿太検査技師（新潟中央病院）、鈴木崇人検査技師（福島県立医科大学病院）、鷺谷万葉工学技士（東北医科歯科大学病院）、

3 名のパネリストによる「術中脊髄モニタリング」についてご講演と、ディスカッションを行いました。

普段あまり聞けない各病院での様々な取り組みをパネリストに詳細にご教授いただきました。

Web 視聴者からの質問も多く、非常に盛り上がり、予定時間があっという間に過ぎてしまいました。

本セミナーにおいて、138 視聴デバイスアクセス(総計約 200 名)の医療従事者の方々にご視聴戴き、こちらも盛会にて無事終了する事が出来ました。

予想以上の参加をいただき、このような勉強の機会がいかに貴重であったか再認識いたしました。

最後に、ご参加いただきました先生方、ご協力いただいた企業の皆様のおかげで無事に開催できましたことを改めて深謝申し上げます。

次回の第 17 回東北 MIS^t 研究会は、みゆき会病院 山形脊椎センター、嶋村之秀先生が当番世話人をお務めになり

2024 年 1 月 28 日(日曜日)に開催予定となっております。全国の先生方にも是非ご参加いただくようよろしくお願いいたします。

第 16 回東北 MIS^t 研究会 当番世話人
新潟中央病院 脊椎・脊髄外科センター
勝見敬一

